

授業科目	日本語表現法(不開講)				実務家教員担当科目	-					
単位	1.	履修	選択	開講年次	1(2)	開講時期	後期(前期)				
担当教員	未 定										
授業概要	<p>1、自分の気持ちを素直に表現できるように  2、早く上手にまとめられるように  3、自分の考えをうまく話せるように</p> <p>以上1~3がうまくできるための、コツをお教えいたします。  コツを修得すれば、必ず上手になります。  その対策として、14回の講義を系統立てて学習していきます。</p>										
授業形態	講義	授業方 法	ほとんど講義ですが、内容に応じてグループの話し合いもあります。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<p>1、ことばの大切さを自覚し、日本語をとおして日本文化についても認識を深めることができる。  2、コミュニケーションが円滑になり、視野が広がり、ものの見方に幅ができる。  3、&lt;読む・聴く・書く・話す&gt;能力が向上し、文章の書き方、話し方等々の基礎を習得することができる。  4、磨きのかかった表現を物にして、魅力的な女性へと変身することができる。</p> <p>正しい日本語を用いて自分自身の考えをまとめる力があること。</p>										
理想的 レベル	<読む・聴く・話す・書く >という全ての分野において、縦横無尽に表現できるようになること。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合(数値)				備考						
試験											
小テスト											
レポート	50%										
発表(口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物	20%				感想文						
その他	30%				出欠						
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリン グ	CH10506J
学習課題(予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
復習しておくこと										1	
授業計画											
第1回	日本語と<お米>の関係について—— なぜ、日本語というものが生まれたのか。										

第2回	「普通の文の書き方」について——(1) 簡単そうで難しい「具体的」について実例を挙げながら検討する。
第3回	「普通の文の書き方」について——(2) 文のねじれ・語順・句読点・文章の組み立てなどを考察しながら、わかりやすい表現を習得する。
第4回	「からだことば」とは？ こころとことばのつながりや、面白い表現について考えてみると・・・驚きの答えがまっている。
第5回	「具体的に書く」とはどういうことか。 簡単そうで難しい「具体的」の方法を例を挙げて解説する。
第6回	「就職のための小論文の書き方のコツ」(1) ジャンル別にテーマを定めて、論ずるための構成法を習得する。
第7回	「就職のための小論文の書き方のコツ」(2) 同上に加えて、論文と作文との相違を考え、実際に書いてみる。
第8回	あなたは敬語に自信がありますか？(1) 間違えやすい敬語の例をあげ、訂正検討する。
第9回	あなたは敬語に自信がありますか？(2) 間違えやすい敬語の例をあげ、訂正解説する。 さらに、敬語が日本に発生した歴史的ルーツを説く。
第10回	若者ことば・接客ことば・間違えやすい日本語表現について—— 時代とともに変化している言葉遣いの乱れや誤りを掲げながら美しい表現を追及する。
第11回	会話の達人になるには(1) あらかじめテーマを定めて、グループ討議をした内容を代表者がスピーチする。その際、まとめたメモも提出し、後、注意事項を話し合う。
第12回	会話の達人になるには(2) 同上に加えてスピーチコンテストを展開し、人前で話すことの重要性を多角的な面から考察する。
第13回	履歴書の書き方をまなぶ。 自分自身をどの様にPRするのか、 アピールの仕方を研究する。
第14回	手紙を書こう 実際に手紙を書いてみる。そして手紙の形式に表れている日本人のこころにふれてみよう。
第15回	素敵な言葉について考えてみよう。
テキスト	使用しません。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中、必要に応じてプリントを配布いたします。

課題に対するフィードバックの方法	レポート50点
学生へのメッセージ・コメント	わからない言葉にであったときには、かならず辞書でしらべてみましょう。 活字に親しむことが一番です。 講義中理解できなかったところは、必ず、質問してください。